

## 1 はじめに

14 期未修の北村仁と申します。平成 29 年に岡山法科大学院に入学し、令和 2 年に同大学院を修了後、令和 4 年度の司法試験に無事合格することができました。

私は修了後に結婚し、拠点を岡山から鳥取に移しました。勉強法については、私よりも優秀な方々に筆を譲りたいため、ここでは、時間が取れない中、「してよかった」ということと受験生の方にお勧めすることを述べます。

## 2 「してよかった」ということと受験生の方にお勧めすること

「してよかった」ということは、自己分析と必要時間の計算、アイテムへの投資です。

まず、自己分析について、私は、短期、中期、長期を意識して、自己分析をしていました。「今日、今週、今月はこの分野の理解が深まった」、「今年は予定通りだった」、「これを踏まえ、次はこうする」ということを言葉にすることで、次の課題が明確になる、見返したときに自信がつくというメリットがあったため、「してよかった」と思っています。

次に、必要時間の計算ですが、ここでの必要時間とは、「合格までにかかる総時間」と「合格のため必要な個々の勉強時間」に分けられます。例えば、司法試験に合格するために 5 千～1 万時間の勉強が必要とし、未修者が「9 千時間で合格したい」と考えれば、1 日の勉強時間は、 $9000 \div (365 \times 3) = \text{約} 8 \text{ 時間}$ です。また、「合格のため必要な個々の勉強時間」の例は、「3 年分論述問題を解く = 51 時間」等の計算です。この計算では、論述 1 年分 = 17 時間（選択 3 + 公法 4 + 民事 6 + 刑事 4）、短答 1 年分 = 2 時間 55 分を覚えると便利です。

最後にアイテムへの投資です。皆さんが共通して使われるであろう物を除けば、私がお勧めするアイテムは、Apple 製品、デスクアイテムの 2 つです。

Apple 製品は、書類の共有や管理等が直感的にできるため、重宝していました。Kindle で購入できる本は Kindle で購入し、ノート、論証集等は GoodNotes5 で一元化し、タスク管理とカレンダーは Calendars5 で行っていました。買い切りの有料アプリはお勧めです。

デスクアイテムは、プラスというメーカーのブックスタンドやキャビネットワゴン、角に設置できる本棚等、ストレスフリーで使うことができる物を揃えていました。

以上のアイテムを最大限使うことで、効率良く、ストレスフリーで勉強できました。

ここでこれらを述べたのは、受験生の方には、常に、「合格者が歩んだ合格へのプロセスはどのようなものであったか」を考えることをお勧めしているからです。厳しい物言いであることを重々承知の上であえて申し上げれば、不合格者は、合格者が歩んだ合格へのプロセスを理解せぬまま個人的な考えに従って行動しているから不合格者なのだと思います。

### 3 最後に

私が合格した時、岡山法科大学院の先生方、資料室、教務の方々、同期や後輩、先輩方が自分のことのように私の合格を喜んでくださり、岡山を離れた方々からの連絡も多数頂きました。あの日頂いた言葉、あの日見た景色を私は生涯忘れないと思います。

本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願い申し上げます。